

研修生最優秀レポート

令和2年度「学長賞」／全5作

市町村アカデミーの研修では、各自が問題意識を持って研修に臨み、講義で学んだことや、研修生との意見交換で感じたことをもとに、自分の考え方などを文章にすることにより、研修成果をより向上させることを目的として、レポートの提出を研修修了の要件としている科目があります。

提出されたレポートのうち、年間を通じて優秀と認められるものについては、「学長賞」として、例年1月、市町村アカデミーにおいて表彰式を開催しているところですが、令和2年度受賞作の表彰式については、令和3年1月に市町村アカデミーが所在する千葉県に緊急事態宣言が発出されたことなどを踏まえ、式典を延期していました。

その後、この宣言は解除されましたが、断続的な感染拡大が進む中、受賞者の皆さんにお集まりいただくことは難しいと判断し、表彰式を取りやめることとし、受賞者の方には各自治体の研修担当課を通じて、表彰状と記念品（iPad）を贈呈させていただきました。

今回は25の研修、全1,600本のレポートの中から特に優秀と認められた5本が表彰されました。

【目次】

北海道羽幌町 富樫 潤	34
【科目名】 地域ブランド等観光戦略の実践 第32期 第1組	
【題名】 本町における「稼ぐ観光」実現のための方策	
岩手県大船渡市 山口 香央利	37
【科目名】 監査事務 第33期 第1組	
【題名】 市のためになる監査、働く職員を守る監査を目指して	
神奈川県横須賀市 児玉 佳与	40
【科目名】 住民税課税事務 第33期 第3組	
【題名】 個人住民税の特別徴収の徹底化	
愛知県愛西市 神田 真愛	43
【科目名】 地域保健と住民の健康増進 第32期 第1組	
【題名】 住民や他機関と協働した母子保健活動について	
岡山県岡山市 岸本 浩	46
【科目名】 職員研修の企画と実践 第33期 第1組	
【題名】 人材育成を好循環へシフトさせるために	